

平成 30 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市金町五丁目7番地2		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	334, 402, 000円(平成30年度、岐阜市民会館と合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2		

●利用状況

		H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期
利用者数(単位:人)		79,478	63,637	104,353	70,069	90,929
各室稼働状況(%)	催し広場	47.3%	36.2%	62.6%	41.1%	55.3%
	小劇場	62.3%	52.7%	72.8%	50.9%	69.5%
	練習室	75.3%	77.3%	80.4%	75.0%	77.1%
	展示室	51.8%	47.4%	62.1%	51.7%	62.0%
	会議室	93.4%	85.2%	84.0%	81.8%	91.6%
	音楽関係室	92.2%	81.3%	92.9%	98.3%	97.6%
	美術工芸室	97.6%	90.3%	94.1%	94.9%	97.0%
和室		62.7%	45.5%	66.3%	57.4%	66.9%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②施設は職員11人が配置されている。適宜研修を実施しており、各業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふやフリーペーパー、さらに有料広告等を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ③第40回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ⑥ぎふ演劇ワークショップ ⑦岐阜市中学校美術作品展2018 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑩ザ・グレン・ミラーオーケストラ ⑪市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月20日(日) 第11回ぎふジャズフェスティバル実施 974人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ・11月13日(火) 能楽出前講座 岐阜小学校 51人 ③第40回ぎふアジア映画祭 ・9月15日(土)～11月25日(日) 2,147人 ④市民スタッフ事業 ・12月9日(日) 文化センター寄席「しゃべれどもしゃべれども」映画上映&昔昔亭A太郎独演会 404人 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ・10月8日(月)第24回採択事業 創作オペラ「ふるさとの昔話」と日本の歌・箏曲 676人 ・1月31日(木) 第25回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ ・2月16日(土)～17日(日) 一般の部 33人 ・3月16日(土)～17日(日) 中学生の部 255人 ⑦岐阜市中学校美術作品展2018 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・10月4日(木) 早田小学校出前コンサート実施 429人 ・11月3日(土) 芥見小学校出前コンサート実施 278人 ・11月11日(日) ザ・グレン・ミラーオーケストラ オープニングアクト ・12月8日(土) 柳ヶ瀬ストリートライブ 300人 ・12月22日(土) クリスマス・ジャズ講座 402人 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ・2月2日(土) 優秀短編発表会 140人 ⑩ザ・グレン・ミラーオーケストラ ・11月11日(日) 1,438人 ⑪市民スタッフ育成事業 ・10月30日(火) 劇場フロントスタッフ研修 ・2月25日(月)出張研修 不二羽島文化センター
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前0時、午前6時、午後7時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病虫害等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・年1回の法定点検を実施。 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・展示室男子便所天井排水管漏水修繕 ・ガス焚き冷温水発生機水室修繕 ・舞台付和室舞台幕修繕 自主点検等による、先を見越した修繕及び、利用者の利便性に繋がる修繕を実施した。 ・小劇場楽屋鏡台照明器具取替修繕 ・「傘ぼん」(傘袋自動装着機)の設置 ・第2会議室の会議用机更新
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、地震、火災や風水害、事故・事件等について、全ての職員が適切に対応できる体制を整え、来館者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・2月7日～3月5日までの施設利用者(団体)110団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、89団体からの回答を得た。アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・催し広場、小劇場の利用者については通年でアンケートを実施することで、利用者のニーズの把握に努めている。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(受付カウンター)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果(2月7日～3月5日) 回収総数 89枚(回収率80.9%) 「使用会場」 催し広場 0%、小劇場 8.3%、練習室 9.4%、展示室 12.5%、会議室 22.9%、音楽室 9.4%、音楽スタジオ 9.4%、第一美工 13.5%、第二美工 7.3%、和室(舞台付) 2.1%、和室(茶室付) 5.2% 「職員の対応」 非常に良い 65.2%、良い 31.5%、普通 3.4%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「敏速な対応」 非常に良い 65.2%、良い 31.5%、普通 3.4%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「的確な対応」 非常に良い 64.0%、良い 31.5%、普通 4.5%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「館内清掃」 非常に良い 62.9%、良い 32.6%、普通 4.5%、悪い 0%、非常に悪い 0%、無記入 0% 「備品満足度」 非常に良い 51.7%、良い 32.6%、普通 12.4%、悪い 1.1%、非常に悪い 0%、無記入 2.2% 「今後も利用したいか」 思う 97.8%、思わない 0%、無記入 2.2% 「他施設の候補を考えたか」 考えなかった 70.8%、考えた 23.6%(他施設…岐阜市民会館、じゅうろくプラザ、ハートフルスクエアG、ワークプラザ、ぎふメディアコスモス、吹上第1ファッション展示場など) 無記入 5.6% 「利用の決め手」 使用料金 18.0%、附属設備 5.3%、収容人数 10.1%、交通の便・駐車場 19.6%、利用時間 10.6%、職員の対応 7.4%、知人の紹介 4.2%、岐阜市の施設である 12.2%、利用目的に合う 10.6%、その他 2.1% 「当施設を以前から知っていたか」 はい 85.4%、いいえ 7.9%、無記入6.7% 「情報媒体」 広報ぎふ・新聞・雑誌等 0%、HP・インターネット 66.7%、知人の紹介・口コミ 33.3%、利用相談会・見学会・営業活動 0%、その他 0% (主な意見) ・ほぼ毎月利用させて頂いております。今後ともよろしくお願い致します。 ・スタッフの方々がよく動いていただいて助かりました。ありがとうございました。 ・職員の方々と舞台設営の皆様が分かりやすく迅速に対応してくださったおかげで、つたない本運営でありながら、つつがなく練習、準備をすることができました。本当にありがとうございました。 ・いつも駐車場から窓口まで、一貫していい対応をしてくださり感謝しております。 ・ボードマーカのインク切れに迅速な対応をいただき、ありがとうございました。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されていないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して文化センター全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) ・譜面台を貸して頂けると嬉しいです。洋式トイレが欲しい。 →音楽スタジオの倉庫に無料で使用いただける譜面台がありますが、倉庫に設置してある備品がわかりにくいので、案内表示を設置します。トイレについても引き続き岐阜市へ洋式化の要望をお伝えしていきます。 ・駐車場の使用許可人数を増やしてください。 →駐車スペースが限られていることから、各室の駐車場台数は1台としているため、ご理解いただきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最大 限発揮する ものである こと	文化芸術事業を行っていく上での方針 と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針 と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行って いる上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び 対応方策(利用者に対するサービスの 向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きくかい離していないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な管理運営 を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館をあわせた管理運営を効果的にしているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管理を 安定して行う物的 能力、人的能力を 有していること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用者の安全 確保策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針 と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」とい う。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努めているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 貸館業務 平成30年度下半期において、昨年度比で施設使用料が約300万円の減少となった。その要因としては催し広場の利用減少が大きい。これは岐阜市美術展覧会の会場がぎふメディアコスモスへ変更になった点に加え、1月下旬から3月上旬にかけて実施された客席照明設備改修工事により、催し広場が1ヶ月以上利用休止となった点が影響した。その他の施設については、会議室や美術工芸室の利用が好調な一方、利用日が近づいてからの予約取り消しや一部の定期利用者の活動が終了した点が影響し、利用が減少した施設もあった。今後の施設利用促進を図るため、塾や楽器店、ピアノ教室等を中心に営業活動を行い、3月18日(月)・19日(火)に利用相談会を実施した結果、2日間で17団体27名が来館された。今後継続的に利用いただけるようしっかりとフォローを行っていく。 2. 施設管理 開館から34年が過ぎ、施設の経年劣化が進んでいる状況である。その中で、下記のような運営努力を行い、施設の安全性及び利便性向上やエコオフィスに取り組んでいる。 ①小劇場楽屋の鏡台照明器具取替修繕や舞台付和室舞台幕修繕などの適切な修繕を実施した。 ②施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定して、すぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と緊密な連携を取り、施設運営をしている。 ③省エネマニュアルに基づき冷暖房の温度設定を管理し、冷暖房費の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入することで、電気使用量の適正な管理が可能となり、電気料金の節約に努めている。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による「地域貢献」事業では、地域の小学校に赴いて演奏を実施したほか、ジャズフェスティバルの企画として柳ヶ瀬ストリートライブ、クリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。また、岐阜市民会館で行われた「ザ・グレン・ミラーオーケストラ」の公演にオープニングアクトとして出演し、国際的アーティストの岐阜でのツアーコンサートを活用して地元演奏者に刺激を与えることができた。第11回ぎふジャズフェスティバルにおいては1000名に近い集客があり、地域の活性化に貢献することができた。 ②「子ども伝統文化体験教室」では市内小学校へ能楽出前講座を実施し、約50名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。 ③「第40回ぎふアジア映画祭」では、アジア各国の多彩な映画の上映に加え、第40回記念企画として展示企画を実施したほか、文化講座や世界的に高い評価を受ける黒沢清監督の対談、韓国伝統音楽鑑賞等を実施し、市民に対して上映作品に関連する文化紹介の場を提供できた。また、映画祭の開催期間中にのべ2,000名を超える来場があり、岐阜駅から柳ヶ瀬にかけた中心市街地の活性化に貢献することができた。 ④「市民スタッフ事業」では、落語をテーマとした「しゃべれどもしゃべれども」の映画上映とともに、岐阜県出身の落語家、昔昔亭A太郎さんの独演会を実施することで、400名を超える来場者があった。アンケート結果からも90%以上の満足度を得ることができ、地域文化の活性化に貢献することができた。 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第25回の審査会を実施し、ホール系会場1団体、小規模会場1団体の計2団体の採択となった。 ⑥「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月には一般の部が開催され、名古屋で活躍する劇作家から指導が行われた。また、3月に行われた中学生の部では、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、県内5つの中学校による発表会が行われ、夏の大会に向けた全体的なレベルアップに繋がった。 ⑦「岐阜市中学校美術作品展」では、各校で特色のある作品の展示が行われた。また、地域の文化である大風や水うちわの展示が行われるなど、子どもたちの作品を披露するだけでなく、地域文化の紹介も可能な場を提供することができた。 ⑧「戯曲セミナー＆リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会としてリーディング形式で発表会を開催した。当日は140名の来場があり、受講者、来場者ともに好評を得ることができ、岐阜の演劇文化の発展に貢献することができた。 ⑨「ザ・グレン・ミラーオーケストラ」ではチケットが完売し、多くの市民にJAZZに親しむ機会を提供することができた。 ⑩「市民スタッフ育成事業」では、外部講師を招き「劇場フロントスタッフ研修」を実施することで、表方業務について理解を深めることができた。また、文化ボランティアの先進事例を学ぶため、不二羽島文化センターへの出張研修を実施した。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	1. 取組み状況 上半期には新規利用の確保や利用の定着についてご意見をいただいた。利用相談会を始めとした営業活動のほか、施設の下見や問い合わせにおいて利用者の要望を汲み取り、利用方法を提案することで利用の確保や定着につなげている。催し広場や小劇場については、アンケートをこれまで実施してきた期間限定ではなく通年で実施することでニーズを常に把握し、しっかりとフォローを行うことで利用促進と定着に取り組んでいる。 2. 貸館業務・施設管理 これまででも評価いただいたように、年2回実施する利用者アンケートではいずれの項目でも「非常に良い」「良い」の回答を多くいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り上げていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、上半期評価いただいたように計画的に点検を実施することによって事故等なく施設運営を行っている。地震や火災などを想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯の少数勤務体制を想定したより実践的な避難訓練に取り組み、防災危機意識を高めている。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 上半期には、「子ども伝統文化体験教室・発表会」「松竹大歌舞伎」において、小中学生に伝統文化を経験、鑑賞する機会を提供し、興味を持ってもらうことができた点をご評価いただいた。下半期に実施した事業についても、「能楽出前講座」で伝統文化に触れる機会を提供するとともに、「楽市JAZZ楽団地域貢献事業」において、市内小学校を対象とした出前講座、コンサートを実施することで、子どもたちが多様な文化芸術を体験し、親しむ機会を提供した。また、「ザ・グレン・ミラーオーケストラ」など鑑賞型の公演においては学チケット料金を設定することで、若者が様々な文化に触れ親しむ機会を提供している。

今後の取組み	1. 貸館業務 ①10月からの消費増税による施設・附属設備料金改正に向けてパンフレットの刷新、経過措置の周知を図っていく。 ②今年度、客席照明設備改修工事により催し広場を利用できなかったリピーターに対してフォローを行うとともに、照明のLED化をPRすることで利用の促進につなげていく。 ③日々のコミュニケーションや利用者アンケートの実施によって利用者のニーズを把握し、フォローを行うことで利用の定着を図るとともに、展示室や和室などを中心に営業活動に取り組み、利用促進を図っていく。 2. 施設管理 ①経年劣化に伴う故障、異常を念頭に置き、こまめな日常点検を実施し、速やかな修繕対応、岐阜市への工事要望を実施する。 ②気候の急な変動など冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるように、省エネマニュアルに沿って、光熱水料費の節約に努めるように取り組んでいく。 ③2020年4月からの敷地内全面禁煙化に向け、利用者へ周知を図っていく。 3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、4月に団員の追加募集とオーディションを実施する。学校への出前コンサートの企画・実施や、第12回ぎふジャズフェスティバルに向けて準備を進めていく。 ②「Concert for KIDS 0才からの鼓童」は、6月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ③「初心者のためのダンスワークショップ」では、バレエのワークショップ参加者を募集する。7月のワークショップの実施に向けて取り組む。 ④「松竹大歌舞伎」は5月のチケット発売に向けてPR活動を充実し、7月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑤「子ども伝統文化体験教室・発表会（和太鼓）」の参加者を募集する。8月に練習を実施し、発表会に向けて取り組む。 ⑥「第41回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて、市民スタッフとともに会議を実施し、選定作品・企画を練っていく。 ⑦「市民スタッフ事業」では、月1回の企画会議を実施し、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑧「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」では、5月から企画を募集し、7月に審査会を実施する。また、5月と9月に実施する採択事業のPR協力、当日実施に向けての支援をしていく。 ⑨「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部を開催する。 ⑩「岐阜市中学校美術作品展」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑪「華麗なるクラシックバレエ・ハイレイト～ロシア4大バレエ劇場の競演～」については、7月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、中高生を対象とする「夏休み体験教室」を8月に開催する。 ⑬「戯曲セミナー」の講座を6月から月1、2回ペースで実施する。 ⑭「フラバン・ディズニー！コンサート」については、6月の公演に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。
---------------	--

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

文化センターは開館して34年が経過し、施設・設備機器の経年劣化が進んでいるが、日常の点検業務や計画的な修繕によって施設の維持管理、安全性の確保に努めている。また、異常を早期発見することで、修繕で終わることができ、円滑な施設運営ができていることは評価できる。

催し広場の照明改修工事で一定期間（約1ヶ月）使用できなかった。加えて、岐阜市美術展覧会の会場がメディアコスモスへ変更になったことも稼働率、利用者数が減少している大きな原因の一つである。ただし、全体的にリピーターの利用が堅調である部分も多いため、リピーターのフォローを行い、取りこぼしの無いように努めていただきたい。

指定事業においては、「ぎふアジア映画祭」でアジア各国の多彩な映画を上映し、第40回を記念して特別展示を実施したほか、文化講座や映画監督の対談等を行ったことで、2,000名を超える多くの方にご来場いただいた事は高く評価できる。また、「市民スタッフ事業」では、落語をテーマとした映画上映と併せて岐阜出身の落語家を招き独演会を実施した。映画と落語を交えた新たな取り組みで、400名を超える来場をいただいたことも評価できる。今後も文化の拠点として、新たな取り組みを交え岐阜市の文化の一翼を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

施設の老朽化は今後の大きな課題であるため、しっかりと対策を考えていただきたい。